



## 三重なす塔



## 誰もが安心できる学校であるために ～ 前期人権学習月間 ～

## 人権学習月間に寄せて

## 校長講話より

今日はこの本から物語を紹介しします。題名は「あん」です。映画化され評価も高く、出演した俳優さんも数々の賞を受けています。

川べりの桜並木の側に、小さなどら焼き屋さんがあります。

名前はどら春。黙々とどら焼きを焼き続ける千太郎は、失敗作だと言って、皮を家庭の事情で食べ物やお金に困っている子に持ち帰らせる優しい男です。千太郎は喧嘩で相手にけがをさせ、刑務所に入ったことがありました。どら春のオーナーが彼を世話して雇っています。

このお店に、徳江という77歳の老婆が働かせてほしいと訪ねてきます。最初は断っていたのですが、彼女が自分で炊いたというあんこを渡された千太郎は、一舐(ひとな)めしてその味の素晴らしさに気付き、働いてもらうことにします。

徳江が来てから、あんの変化に気付いたお客から評判があがり、たくさんのお客が来て、行列になることもありました。評判が評判を呼んで、どら春はいつの間にか人気店になっていたのです。

ところがそんなある日、どら春のオーナーがやってきます。徳江が過去にかかっていた病気を理由に店を辞めさせるよう指示します。その病気とは「ハンセン病」。昔はこの病気になった人は完全に社会から隔てられた場所で暮らすこと、と法律で定められていました。治る病気なのに、人々の間には「怖い病気」として定着してしまい、平成8年にその法律がなくなっても、患者はもとよりその家族も結婚や就職をこぼまれるなど、偏見や差別がなくなりませんでした。

千太郎は、徳江の病気は完全に治っていることから辞めさせない、と訴えますが、自分自身の過去を救ってもらったオーナーにはやはり逆らえません。

時は過ぎ秋になる頃、その後誰か悪い噂を流したのか、どら春にはすっかり客が来なくなってしまいました。結局彼女は店を辞めてしまったのです。

千太郎は、徳江が暮らす療養所と呼ばれる場所を訪ねます。少し見ない間に一気に年老いてしまったのですが、再会を喜んでくれました。

そして徳江は、中学生の頃病気にかかったままずっと暮らしていたこと、病気を理由に結婚しても子どもを産むことを許されなかったことなど、悲しい過去を彼に話します。療養所ではお菓子作りなどを担当し、50年間あんを作り続けてきたのです。小豆(あずき)に語りかけながら、小豆の煮える音を小豆の声を聞くという、徳江のていねいな仕事ぶりの理由が千太郎にもわかりました。そして、徳江は、辞めさせられたことには一つも文句を言わず、社会の中で働くという夢を叶(かな)えられたと逆に千太郎に感謝を伝えます。

千太郎は、徳江からの言葉を胸に自分なりのあんこ作りに取り組みます。「あんは徳江が生きてきた証(あかし)」、そう力強く思うようになった千太郎です。

どら春にも客が戻ってきます。

しかし、オーナーは、どら春を改装しお好み焼きの店にすると言うのです。千太郎も結局店を辞めることになります。徳江も肺炎で亡くなってしまいます。千太郎は、徳江の遺した手紙と共にあんこ作りの道具を形見として受け取ります。手紙には週に一度の散歩の時に、あまりに寂しい目をした千太郎を見かけ、つい声をかけたこと、徳江がもし子供を産んでいれば、千太郎と同じ年になっていたことなど、千太郎を応援する徳江の精一杯が書かれていました。千太郎は今までよりもっと前向きな人生を歩もうとしていく、そんな物語です。

私は、始業式の時に、「認め合い」にかかわってこんなお話をしました。「青木中の皆さんは小さい頃からお互いのことをよく知っているため、同じようにすることが仲間だと考えがちではないでしょうか。」

どら春のオーナーは、徳江を差別しやめさせようとした、その結果、自分の店が儲からなくなってしまいました。差別はやがて自分を苦しめます。差別されたことで、そして差別したことで苦しむ人がいなくなることを願い、今日の話を終わりにします。



昔あったことや、ちょっとしたちがいがいから、  
仲間のある人をからかっていたことはないか。

長く続いてそれが当たり前のようになり  
「からかっても平気な子」だと  
思うようになったのではないか。

「昔のちょっとした違いが当たり前ようになっていった」  
今回お話した徳江のハンセン病のお話と重なりませんか。

### 生徒会活動 ～清掃向上週間・生活向上週間～

5月21日(月)～25日(金)は清掃向上週間、28日(月)～6月1日(金)は生活向上週間を生徒会活動で行いました。

清掃向上週間では、「普段、手の届かない場所をきれいにする」を重点に活動しました。また生活向上週間では、「挨拶を大きな声でする」「時間を意識して行動する」「整った服装で生活する」を守るように、生活委員が中心となって毎日呼びかけたり、カードを用いて振り返りを行ったりしました。

どちらの活動も3年生が中心となって、よりよい学校生活を目指しています。



～気をはたらかせて清掃～  
「心を磨く清掃」に取り組みます。

### 前期読書旬間 スローガン「初めの一冊～自分にあう本を」



5月7日(月)～18日(金)まで前期読書旬間でした。旬間中は、校長講話、先生方の読み聞かせ・ブックトーク、新しい先生方への本に関するインタビュー、図書委員によるお昼の放送での本の紹介など様々な企画が行われました。

その中でも、最も大事にしている活動が「朝読書」です。一日のスタートは朝読書から。全校で10分間の読書を楽しみます。心落ち着く時間を過ごして、毎日が始まっています。



### アイリスセミナー講師紹介式

アイリスセミナーが6月より始まります。開講に先だち11日(金)に講師の皆様との紹介式を行いました。皆様より自己紹介と共に、講座の内容をお知らせいただきました。講師の方々のお人柄が伝わり、開講がとても楽しみにになりました。

講師の皆様にはご多用の中、ご来校いただきありがとうございました。



### 職場見学から職業調べ

2年生は、職場体験学習の事前学習として、先月、村内の職場(青木村役場様、キャステク様、ラポートあおき様、杓掛冷食様、道の駅様、本校給食室)を見学させていただきました。各職場の皆様、お忙しい中、ありがとうございました。そして5月に入り、タブレットを使って職業調べが始まりました。7月の職場体験学習につなげていきます。



### スクールカウンセラーの紹介

○村のスクールカウンセラー 植田 瑞穂先生 週に1回(水曜日)来校されます。

○県のスクールカウンセラー 油井理恵子先生 月に1回程度、依頼をされると来校していただけます。

- \* 面談の希望がありましたら、学級担任または教頭へ、1週間ぐらい前までにご連絡ください。子どもさんや学校の心配事など、お気軽にご相談ください。



1(金)・15(金) アイリスセミナー①② 4(月) 心電図検査(1年)

9(土)・10(日) 上小大会 11(月)・12(火) 計画休業

13(水) 内科検診(全校) 18(月) 集金日・漢字道場 19(火) 地域参観日

23(土)・24(日) 東信大会 25(月) 計画休業 30(土)～7/5(木) マリスト校来校

【放射性物質検査結果について】5月の学校給食用食材の「長野県産 アスパラガス」「群馬県産 レタス」から、放射性物質が検出されなかったことをお知らせします。

